

# TOTO

## 電気温水器 湯ぽっと RE-Mシリーズ RE12M型

### 7 安全上の注意

#### 安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取り付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		必ず実行		アースを接続せよ

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

### 警告

 分解禁止	修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない (感電や故障の原因になります。)
 一般的な禁止	指定する電源以外では使用しない(ヒーターの断線・火災などの原因になります。)
	電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わない(感電・火災の原因になります。)
 風呂シャワーなど水場での使用禁止	屋内用のため、屋外には設置しない(感電や故障の原因になります。)
	コードを乱暴に扱ったり、がたついているコンセントに差し込まない(火災の原因になります。)
 必ずアース線を接続せよ	電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う また、漏電遮断器を取り付ける (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
 必ず実行	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミ等を取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる(通水前の配管には砂やシールテープなどのゴミが混入しているケースが多く、内蔵していますフィルターだけでは完全にゴミが取りきれません。このゴミなどが機器内に入ると故障の原因になります。)

### 注意

 一般的な禁止	タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れない (空焚きとなり故障や事故の原因になります。)
	水道水以外は、通水しない (井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。)
	製品に強い力や衝撃を与えない(故障や水漏れの原因になります。)
 必ず実行	専用湯水混合栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しない (機器の破損や水漏れの原因になります。)
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く「※水抜き方法」を参照ください。(凍結破損し水漏れのおそれがあります。)
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける (凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。)
	水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする (空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。)
 必ず実行	専用水栓を必ず使用する(水漏れの原因になります。)
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりフィルターふたを緩めずに、止水栓を閉めてから行う (水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。)

## おねがい

給水圧力は0.05～0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。(0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)

電源はAC100V (50/60Hz)、消費電力は0.5kWです。必ずこれに適した配線をしてください。

取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。

空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

先止め式の湯水混合栓を取り付けると、機器が破損し水漏れの原因となります。

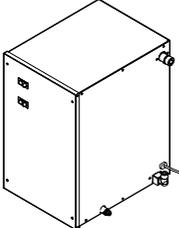
必ずフィルター付き止水栓 (必要別売品) を取り付けてください。

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。(銅管などで接続されると、機器のフィルターの清掃が困難になります。)

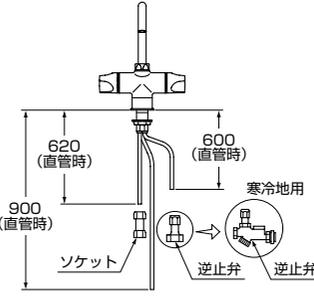
コンセントは、接地用端子の付いた接地極付コンセントを取り付けてください。

## 2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

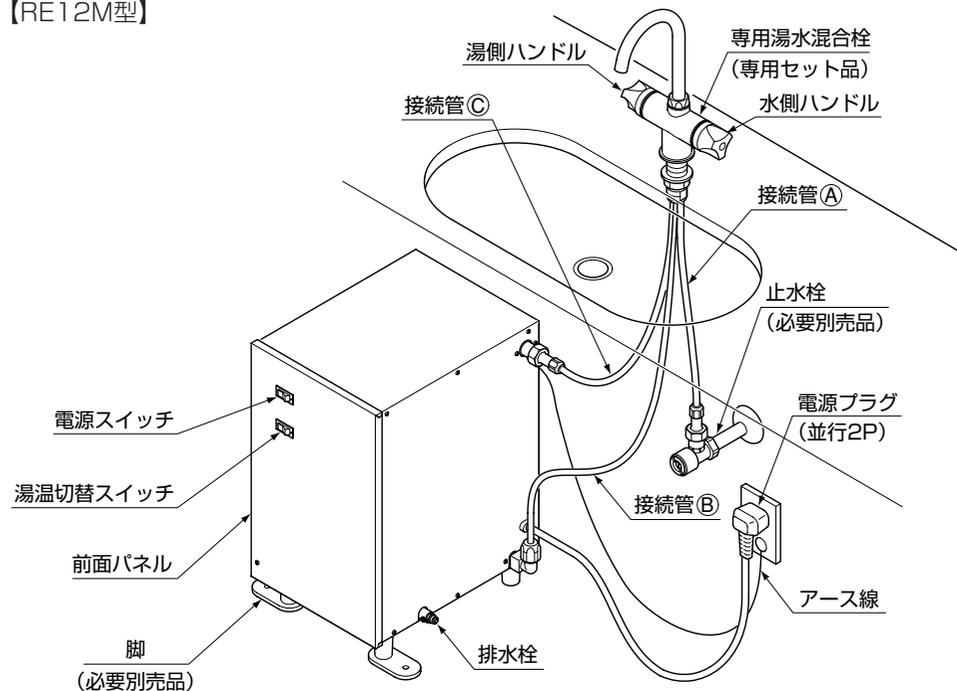
<p>①電気温水器本体</p> 	<p>②排水ホース、取扱説明書 (保証書付)、施工説明書</p>  <p>L=300</p> <p><b>お客様にお渡しください</b></p>
<p>③袋ナット、テーパリング、パッキン、パッキンガイド</p> 	

### ■専用セット品

品名	形状	品番	備考
2ハンドル混合栓	 <p>620 (直管時) 600 (直管時) 900 (直管時)</p> <p>寒冷地用</p> <p>ソケット 逆止弁 逆止弁</p>	一般地用	TLS21-1EX
		寒冷地用	TLS21-1EUKX
			元止め式専用湯水混合栓

## 3 各部の名称

【RE12M型】



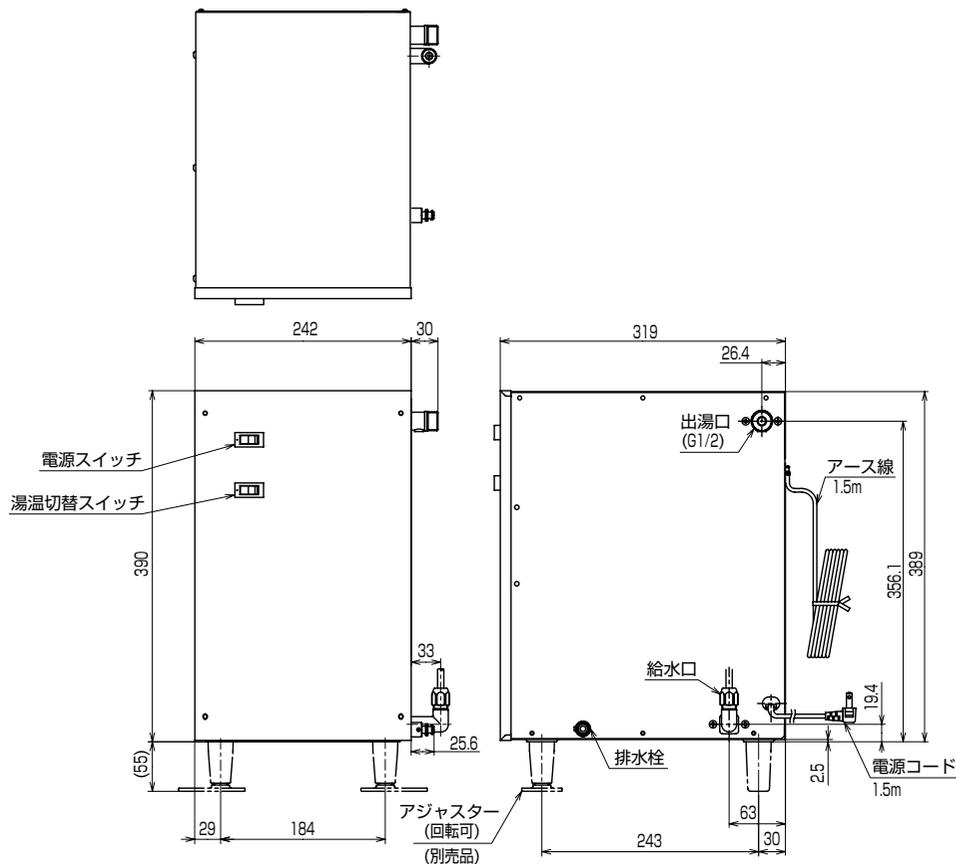
## 4 仕様

機種品番	RE12M	
貯湯量	約12L	
定格	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	505W
給水方式	元止め式	
沸き上がり温度	約60℃ (約85℃切替可)	
沸き上がり時間 (入水温15℃)	約1時間20分 (約2時間)	
製品寸法	幅242mm×奥行319mm×高さ390mm	
製品質量 (滴水時質量)	約6kg (滴水時約18kg)	
電源コード長さ	約1.5m	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル
	アース	アース線 (約1.5m)
使用条件	使用雰囲気温度	0～40℃ (凍結不可)
	使用水圧	0.05～0.75MPa

# 5 寸法図

【RE12M型】

(単位：mm)



# 6 別売品一覧

※★は必要別売品です。

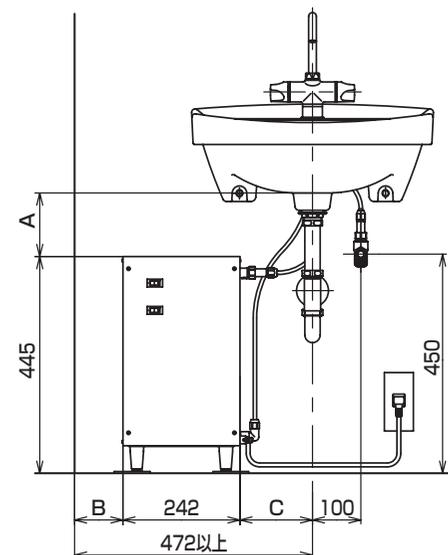
品名	形状	品番	備考
★アングル型止水栓		TL347C	一般地用 給水用フィルター付 (壁給水用)
		TL347CVU	寒冷地用
★ストレート型止水栓		TL348C	一般地用 給水用フィルター付 (床給水用)
脚	 前脚 (アジャスター付) (2本) アジャスター 後脚 (アジャスターなし) (2本) 53~60mm 55mm 木ねじ (2本)	RHE1N	-

# 7 施工例

施工およびメンテナンスのためのスペースを確保してください。

● 2ハンドル混合栓 (1穴タイプ)

(単位：mm)



- A寸法：10以上  
脚のアジャスター調整に必要な寸法。
- B寸法：100以上  
脚を固定するためのねじ止めができる寸法。
- C寸法：130~290  
混合栓の接続管を接続できる寸法。

# 8 取り付け手順

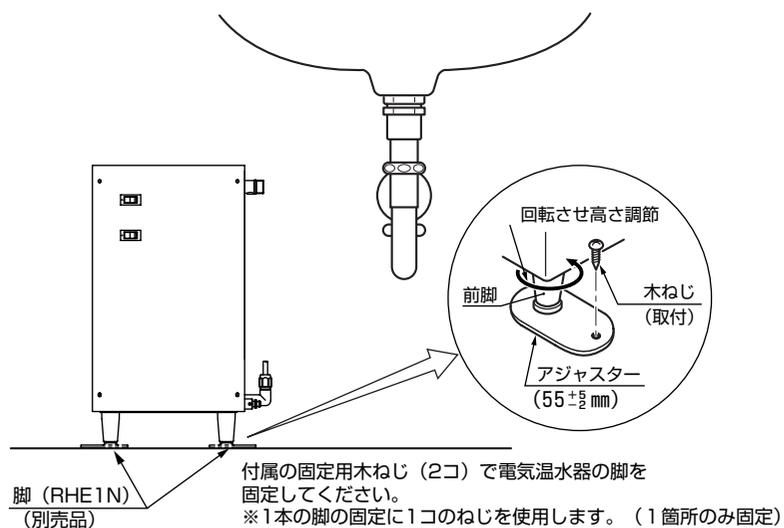
## 注意

- この電気温水器は元止め式です。  
水栓は専用セット品の元止め式専用湯水混合栓を必ずご使用ください。
- 給水前に必ず止水栓を開け、バケツ2杯（約20L）程度の水を捨ててください。  
（ゴミなどが機器本体内に入ると故障の原因となります。）

## 1. 電気温水器の設置

### 〈水がかかるような床に直に設置する場合〉

必ず別売品の脚（RHE1N）をご使用ください。



## 2. 専用湯水混合栓の取り付け

### (1) 専用湯水混合栓の仮固定

- ①取付穴周囲の汚れを取り、TOTOマークが正面を向くように本体脚部を取付穴に差し込んでください。

## 注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- 取付穴φ35に取り付ける場合、平パッキンを専用湯水混合栓に同梱の段付きパッキンに取り替えてください。  
（平パッキンのまま取付穴φ35に取り付けると、水漏れ、ガタツキの原因となります。）

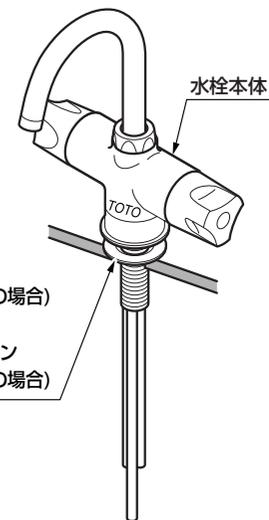


平パッキン  
（φ28用）



段付きパッキン  
（φ35用）

平パッキン  
（取付穴φ28の場合）  
または  
段付きパッキン  
（取付穴φ35の場合）

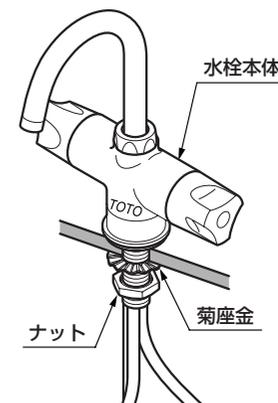


## 注意

TOTOマークを後ろに向けると湯・水のハンドルが逆になります。

- ②菊座金、ナットを手締めで仮固定してください。

※工具を用いての固定は、各接続管と電気温水器を接続後に行います。

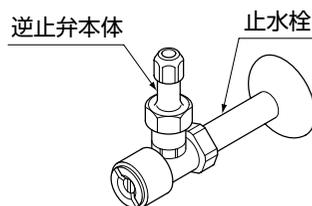


# 8 取り付け手順 (つづき)

## (2) 逆止弁本体の取り付け

### ●一般地用の場合

専用湯水混合栓に付属の逆止弁本体を止水栓にねじ込んでください。

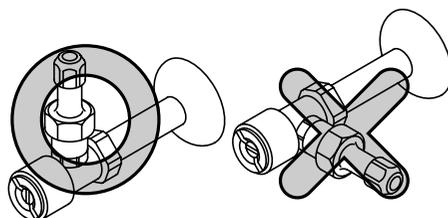


### 注意

止水栓は別途ご用意ください。  
水栓、電気温水器へごみが入らないようフィルター付き止水栓をご使用ください。

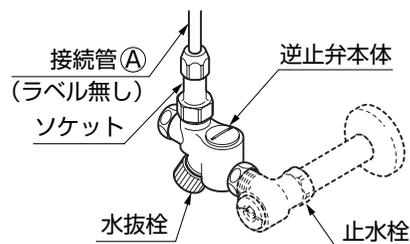


逆止弁本体は垂直に取り付けてください。  
横向きになると接続管が抜けるおそれがあります。



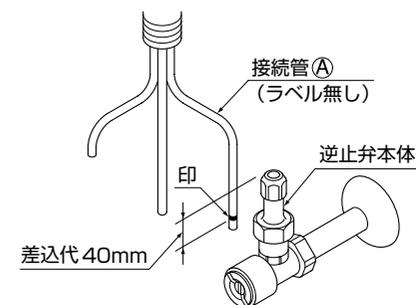
### ●寒冷地用の場合

専用湯水混合栓に付属の逆止弁本体を止水栓に取り付けてください。  
このとき、水抜栓が下になるようにしてください。

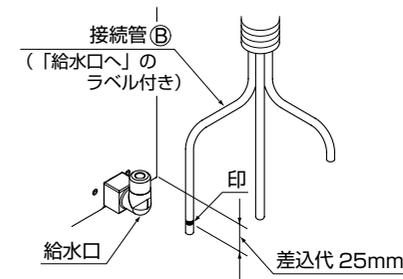


## (3) 接続管の寸法合わせ

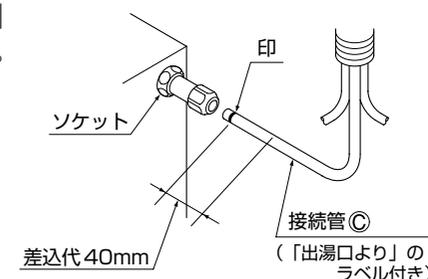
●接続管A〔φ7…600mm、ラベル無し〕は逆止弁本体に接続します。  
必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。  
このとき差込代を40mm確保してください。



●接続管B〔φ7…900mm、「給水口へ」のラベル付〕は温水器の給水口に接続します。  
同梱の袋ナットを給水口に仮に付け、必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。  
このとき差込代を25mm確保してください。  
※印を付けた後、袋ナットは外してください。



●接続管C〔φ7…620mm、「出湯口より」のラベル付〕は温水器の出湯口に接続します。  
①専用湯水混合栓に同梱のソケットを出湯口にねじ込んでください。  
②接続管Cの必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。このとき差込代を40mm確保してください。



## (4) 接続管の切断

水栓を取り外して、前項で印をした箇所を切断してください。  
切断の際のバリや切粉は十分取り除いてください。

# 8 取り付け手順 (つづき)

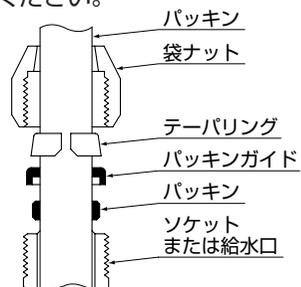
## 3. 電気温水器との接続

### 注意

接続管は必ず上り勾配になるようにしてください。

袋ナットは手で強くねじ込んだ後、さらに工具を使って、1回転以上ねじ込んでください。

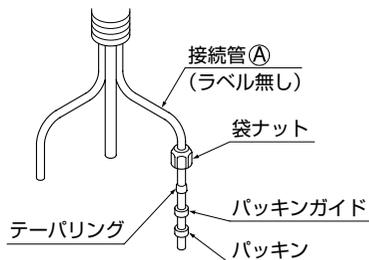
テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないでください。



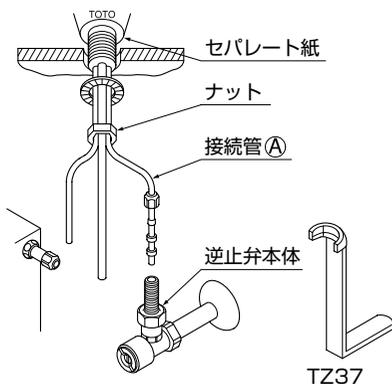
### 注意

工事の際、接続管をつぶさないように注意してください。

- ① 逆止弁本体の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを接続管①〔φ7…600mm、ラベル無し〕に入れてください。



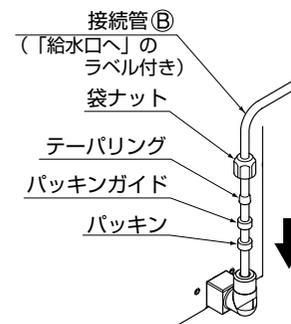
- ② 水栓全体を一旦持ち上げ、セパレート紙をはぎ取ってから接続管①が逆止弁本体に入るよう押し下げてください。入ったら水栓本体をナットでしっかり固定し、接続管の袋ナットを工具で十分に締め付けてください。なお、ナットの締め付けは専用工具(TZ37)をご利用ください。



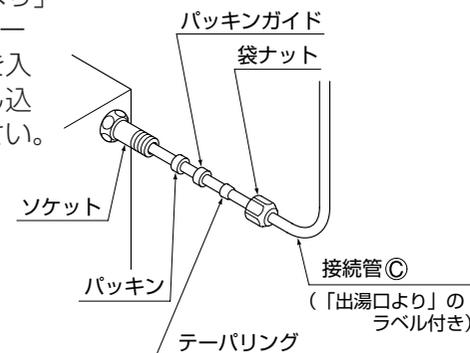
### 注意

接続管①は、逆止弁本体のストッパーに当たるまで差し込んで袋ナットを工具で十分に締め付けてください。

- ③ 接続管②〔φ7…900mm、「給水口へ」のラベル付〕に、同梱品の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付けてください。



- ④ 接続管③〔φ7…620mm、「出湯口より」のラベル付〕に、出湯口の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付けてください。



# 9 電気工事について

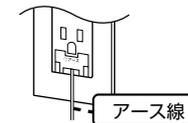


使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線を行う  
(火災の原因になります。)

電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う  
また、漏電遮断器を取り付ける  
(誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)



アース線をコンセントのアース端子に取り付ける

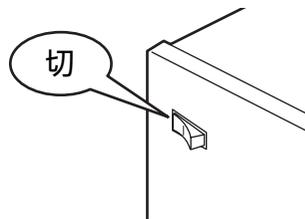


# 10 試 運 転

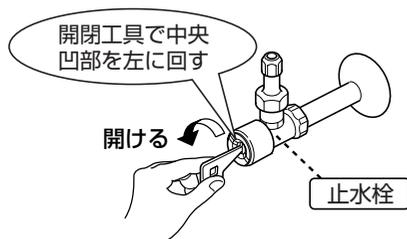


タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れないでください。  
(空焚きとなり故障、事故の原因になります。)

①電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。



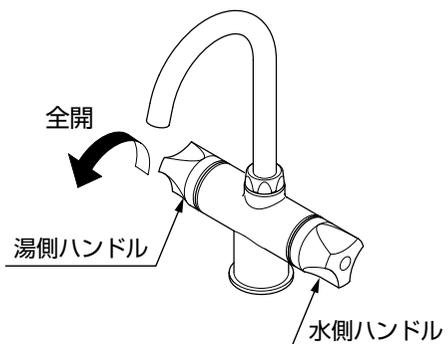
②止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開けてください。



## 注意

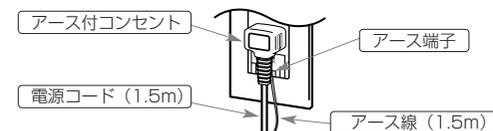
給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。  
(水から臭いがするおそれがあります。)

③電気温水器のタンクを満水にしてください。  
湯側ハンドルだけを全開にし、2分程度お待ちください。吐水口から水が安定して出はじめるとタンクは満水です。

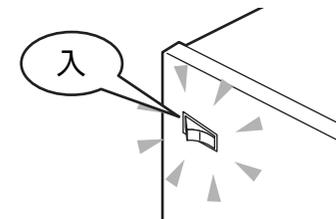


④専用湯水混合栓の湯側ハンドルを閉め、配管接続部に水漏れがないか確認してください。

⑤電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。



⑥電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



## 空焚き禁止

(タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしないでください)

⑦沸き上がると自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。

### <沸き上がり時間の目安>

給水温	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
沸き上がり温度			
約60℃	約1時間40分	約1時間20分	約60分
約85℃	約2時間20分	約2時間	約1時間50分

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。

### 空焚きリセット方法

1. 電源スイッチを「切」にする。
2. タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。
3. 電源プラグを引き抜く。
4. 前面パネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す。



# 77 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。



電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜く  
(空焚きとなり故障、事故の原因となります。)

①専用湯水混合栓の湯側ハンドルを開け、タンク内の湯を完全に出してください。

(タンク内に湯が残っているとやけどするおそれがあります。沸き上がり直後の湯温は約60℃になります。)

(85℃に設定変更している場合は約85℃になります。)

②湯を出し切ったら、止水栓に付属の開閉工具にて止水栓を閉めてください。

③電気温水器の排水栓に付属の排水ホースを差し込み、左に回してください。排水が始まります。

※専用湯水混合栓の逆止弁本体に水抜栓が付いている場合は、止水栓を閉め、水抜栓から専用湯水混合栓の水を抜いてください。

(タンクが満水のと看、水抜きは約12分かかります。)

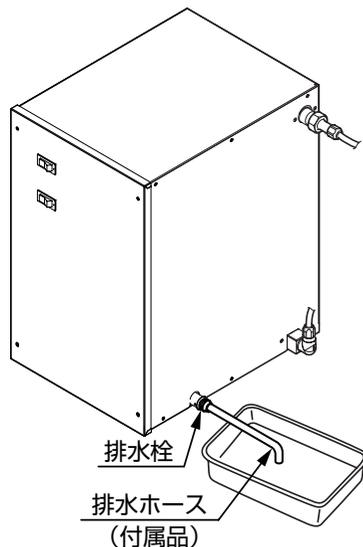
④タンク内の水が排水されたら、排水栓を閉じてください。

⑤湯側ハンドルを閉じてください。

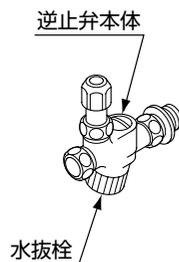
※排水栓が閉じられていないと、専用湯水混合栓からの吐水時に水が飛び出します。

※専用湯水混合栓の逆止弁本体に水抜栓が付いている場合は、水抜栓を閉じてください。

以上の操作で水抜きは完了です。



※水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。



## 配管の凍結予防

運転スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水・出湯側の各接続管に保温材または凍結予防ヒーターを巻いてください。